

公立邑智病院改革プラン点検・評価報告書
(平成22年度 実施状況)

平成23年9月

公立邑智病院改革プラン経営評価委員会

はじめに

昨年度実施した点検・評価による報告書を基に当委員会としては、中間の年である平成22年度における、①経営効率化、②再編・ネットワーク化、③経営形態の見直し、④その他地域医療について、の4項目について点検・評価を行ったので、ここに報告する。

基本的な考え方

平成22年度も引き続き医師不足の状態であり、改革プランを策定した時よりも医師が3名少ない状態にて診療を行っている。

総務省が示した公立病院改革の目的は、地域において必要な医療供給体制の確保を図るために経常収支黒字(不採算な部分は一般会計負担金等によって賄われることが法的に認められている)を達成し、持続可能な公立病院を築き上げることであり、今年度も以下の4項目について点検・評価を行った。

4項目の点検・評価

① 経営効率化について

平成22年度決算見込みと改革プランの収支計画を比較した結果、収益の項目が数値目標を達成できていない。平成22年度の経常収支は-1800万円と平成21年度と比べ約1億円改善したが黒字化は達成できていない。今後黒字化に向けて、当地域の医療供給体制を維持するため地域を挙げた医師確保及び患者数の増加に取り組む必要がある。ついでに、患者数の増加については、受診動向・人口減少・高齢化等あらゆる面からの考察が必要である。

取り組み状況においては、改革プランに掲げた項目について平成22年度は達成しており病院の運営姿勢は評価できる。

② 再編・ネットワーク化について

平成21年度の報告と同様に、平成22年度についても島根県の方針に変更がなく現状維持とする。

③ 経営形態の見直しについて

平成21年度の報告と同様に検討を続けることとする。

④ その他地域医療について必要なことについて

郡内唯一の救急病院、そして、急性期病棟を維持するためにも改革プラン作成時の診療体制を目指し、また病病・病診連携（地域連携）を確立することにより地域ニーズの隙間を埋めるべく有効な医療体制を構築できると考える。

おわりに

公立邑智病院改革プラン経営評価委員会として、持続可能な公立病院を築き上げるためにも3年間のプラン最終年度に向けて更なる努力を求めたい。また、改革プランの策定された期間は3年間と定められているが、平成24年度以降について経営状態・診療体制に即した改革プラン作成を要望する。

邑智郡の住民にとって貴重な財産である公立邑智病院。今後も運営を継続していくためにも、常に現状の把握を行い、病院の方向性を地域住民に示しつつ、健全な病院運営に努められることを望む。

公立邑智病院改革プラン経営評価委員会
委員長 大畑茂久

○公立邑智病院改革プラン経営評価委員会委員

委員長 大 畑 茂 久 (川本町議会 議長)

副委員長 松 本 正 (邑南町議会 議長)

委員 景 山 良 材 (美郷町議会 議長)

嶋 田 慎 司 (川本町 副町長)

樋 ケ 司 (美郷町 副町長)

桑 野 修 (邑南町 副町長)

石 原 晋 (公立邑智病院 院長)

○第1回 公立邑智病院改革プラン経営評価委員会

日時 平成23年9月21日(水) 14時00分～16時30分

場所 公立邑智病院大会議室

○事務局 公立邑智病院 事務部

日 高 武 英 (事務部長)

奈 須 和 子 (医事課長補佐)

三 上 和 彦 (総務課総務人事係長)

土 井 祐 子 (地域連携室)

上 田 通 一 (総務課企画経営係)